

化合物または医薬製剤の特殊な治療活性[7]

注

(1) このサブクラスは、サブクラス A61K または C12N、若しくはクラス C01, C07, C08 にすでに分類された化合物または医薬を包含する。[7]

(2) このサブクラスにおいて、“薬”なる用語は治療活性を有する化合物または組成物を包含する。[7]

(3) このサブクラスにおいては、治療活性はすべての適切な箇所に分類される。[7]

(4) 発明の主題が、化合物または医薬製剤の特殊な治療活性のみに関しており、発明のこの主題の化学構造、化合物、混合物または組成物が知られている場合に注意が必要である。そのような場合では、分類はサブクラス A61K と A61P の両方に発明情報として付与される。加えて、化学構造、化合物、混合物または組成物、あるいは混合物または組成物の個々の内容物のいずれかが調査に重要な情報を示すものと考えられる場合は、それも付加情報として分類してもよい。[2012. 01]

(5) このサブクラスの分類記号は、特許文献に付与されるとき、先頭には記載されない。[7]

1/00 消化器官、消化系統の疾患治療薬[7]

171 ・動物用であって、1/02-1/18 に分類されないもの (H11.6 新設)

1/02 ・口腔用製剤、例. う歯、アフタ、歯根膜炎の薬[7]

1/04 ・潰瘍、胃炎、食道炎の薬、例. 制酸剤、酸分泌抑制剤、粘膜保護剤[7]

1/06 ・鎮痙薬、例. 腹痛、食道ジスキネジアの薬[7]

1/08 ・乗り物酔い、めまいの薬; 制吐剤[7]

1/10 ・緩下剤[7]

1/12 ・止瀉薬[7]

171 ・動物用 (H11.6 新設)

1/14 ・消化促進剤、例. 酸、酵素、食欲促進剤、抗消化不良、強壮薬、腸内ガス減少剤[7]

1/16 ・肝臓、胆嚢疾患用薬、例. 肝臓保護剤、胆汁排出促進剤、胆石溶解剤[7]

101 ・利胆薬 (H11.6 新設)

105 ・胆石溶解剤 (H11.6 新設)

1/18 ・膵臓疾患用薬、例. 膵臓酵素[7]

3/00 代謝系疾患の治療薬 (血液、細胞液のためのもの A61P7/00) [7]

171 ・動物用であって、3/02-3/14 に分類されないもの (H11.6 新設)

3/02 ・栄養剤、例. ビタミン、ミネラル[7]

101 ・ビタミン様剤 (H11.6 新設)

102 ・・・・ビタミン A, D 様剤 (H11.6 新設)

104 ・・・・ビタミン B 様剤 (H11.6 新設)

105 ・・・・ビタミン B1 様剤 (H11.6 新設)

106 ・・・・ビタミン B2 様剤 (H11.6 新設)

107 ・・・・ビタミン C, P 様剤 (H11.6 新設)

109 ・・・・ビタミン E, K 様剤 (H11.6 新設)

3/04 ・食欲減退薬; 抗肥満薬[7]

3/06 ・高脂血症治療剤[7]

3/08 ・グルコースホメオスタシスのためのもの (膵臓ホルモン A61P5/48) [7]

3/10 ・過血糖症のためのもの、例. 糖尿病治療剤[7]

3/12 ・電解質のホメオスタシスのためのもの[7]

3/14 ・カルシウムのホメオスタシスのためのもの (ビタミン DA61P3/02, 副甲状腺ホルモン A61P5/18, カルシトニン A61P5/22, 骨粗しょう症 A61P19/10, 骨メタスタシス A61P35/04) [7]

5/00 内分泌系疾患の治療薬[7]

5/02 ・視床下部ホルモンによる病気のためのもの、例. TRH, GnRH, CRH, GRH, ソマトスタチン[7]

5/04 ・視床下部ホルモンの活性を減少、遮断し、またはこれと拮抗するもの[7]

5/06 ・脳下垂体前葉ホルモンによる病気のためのもの[7]

5/08 ・前方脳下垂体ホルモンの活性を減少、遮断し、またはこれと拮抗するもの[7]

5/10 ・脳下垂体後葉ホルモンによる病気のためのもの、例. TSH, ACTH, FSH, LH, PRL, GH[7]

5/12 ・後方脳下垂体ホルモンの活性を減少、遮断し、またはこれと拮抗するもの[7]

5/14 ・甲状腺ホルモンによる病気のためのもの[7]

5/16 ・甲状腺ホルモンの活性を減少、遮断し、またはこれと拮抗するもの[7]

5/18 ・副甲状腺ホルモンによる病気のためのもの[7]

5/20 ・PTH の活性を減少、遮断し、またはこれと拮抗するもの[7]

5/22 ・カルシトニンの活性を減少、遮断し、またはこれと拮抗するもの[7]

5/24 ・性ホルモンによる病気のためのもの[7]

5/26 ・アンドロゲン[7]

5/28 ・抗アンドロゲン[7]

5/30 ・エストロゲン[7]

5/32 ・抗エストロゲン[7]

5/34 ・ゲスタゲン[7]

5/36 ・抗ゲスタゲン[7]

5/38 ・副腎ホルモンによる病気のためのもの[7]

5/40 ・鉱質コルチコイド、例. アルドステロン; 鉱質コルチコイドの活性を増強するもの医薬[7]

5/42 ・鉱質コルチコイドの活性を減少、遮断し、またはこれと拮抗するもの[7]

5/44 ・糖質コルチコイド; 糖質コルチコイドの活性を増強する医薬[7]

5/46 ・糖質コルチコイドの活性を減少、遮断し、またはこれと拮抗するもの[7]

A 6 1 P

5/48	・脾臓ホルモンによる病気のためのもの[7]	15/02	・腫疾患のためのもの[7]
5/50	・インシュリンの活性を増強するもの[7]	15/04	・陣痛促進, 子宮収縮, 堕胎促進のためのもの[7]
7/00	血液または細胞外液の疾患の治療薬[7]	171	・動物用 (H11.6 新設)
7/02	・抗トロンビン剤;抗凝血剤;血小板凝集阻害剤[7]	15/06	・流産防止;陣痛抑制剤[7]
7/04	・抗出血剤;凝血促進剤;止血剤;繊維素溶解阻害剤[2006. 01]	15/08	・性腺関連疾患と受胎促進のためのもの, 例. 排卵, 精子形成の誘発剤[7]
7/06	・抗貧血剤[7]	15/10	・インボテンスの薬[7]
7/08	・代用血しょう;灌流液;透析剤;血液透析剤;電解質および酸一塩基による病気の治療剤, 例. 循環血流量減少性ショック (人工涙 A61P27/04) [7]	15/12	・更年期障害のためのもの[7]
7/10	・抗浮腫剤;利尿剤[7]	15/14	・授乳疾患のためのもの, 例. 乳漏[7]
7/12	・抗利尿剤, 例. 尿崩症治療剤 (ADH は A61P5/10) [7]	171	・動物用抗乳房炎剤 (H11.6 新設)
9/00	循環器系疾患の治療剤[7]	173	・動物用催乳剤 (H11.6 新設)
9/02	・非選択的心臓血管系刺激剤, 例. 失神発作の処置剤, 抗低血圧剤[7]	15/16	・男性用避妊薬[7]
9/04	・変力作用剤, 例. 心筋収縮剤;心不全治療剤[7]	171	・動物用 (H11.6 新設)
9/06	・抗不整脈剤[7]	15/18	・女性用避妊薬[7]
9/08	・一般的な血管拡張剤[7]	171	・動物用 (H11.6 新設)
9/10	・虚血, アテローム性動脈硬化症の治療のためのもの, 例. 抗アングナ, 冠動脈拡張剤, 心筋梗塞, 網膜症, 脳血流障害, 腎臓細動脈硬[7]	17/00	皮膚疾患の治療薬[7]
101	・抗動脈硬化 (H11.6 新設)	101	・皮膚用殺菌剤 (H11.6 新設)
103	・冠血管拡張剤 (H11.6 新設)	171	・動物用であって、17/02-17/16 に分類されないもの (H11.6 新設)
9/12	・抗高血圧剤[7]	17/02	・傷, 潰瘍, 火傷, 傷跡, ケロイドのようなものの治療のためのもの[7]
9/14	・血管保護剤, 痔治療薬, 静脈瘤治療剤, 毛細血管安定剤[7]	17/04	・抗痒疹剤[7]
11/00	呼吸系疾患の治療薬[7]	17/06	・抗乾せん剤[7]
11/02	・鼻用, 例. うっ血除去剤[7]	17/08	・抗脂漏剤[7]
11/04	・のどの病気のためのもの[7]	17/10	・抗ニキビ剤[7]
11/06	・抗喘息薬[7]	17/12	・角質溶解剤, 例. イボ, タコ治療剤[7]
11/08	・気管支拡張剤[7]	17/14	・禿と脱毛症のためのもの[7]
11/10	・去たん剤[7]	17/16	・保湿剤, 保護剤, 例. 紫外線に対するもの[7]
11/12	・粘液溶解剤[7]	17/18	・酸化防止剤, 例. 抗ラジカル剤 (日光から防護するための製剤 A61Q17/00) [8]
11/14	・鎮咳薬[7]	19/00	骨格系疾患の治療剤[7]
11/16	・中枢性呼吸促進[7]	19/02	・関節疾患のためのもの, 例. 関節炎, 関節症[7]
13/00	泌尿器系疾患の治療薬 (利尿剤 A61P7/10) [7]	19/04	・結合組織疾患のためのもの[7]
13/02	・尿と尿路疾患の治療剤, 例. 尿酸性化剤[7]	19/06	・抗痛風剤, 例. 抗尿酸血症剤, 尿酸排泄促進剤[7]
105	・尿路殺菌剤 (H11.6 新設)	19/08	・骨疾患のためのもの, 例. くる病, ペーজেット病[7]
13/04	・尿結石症のためのもの[7]	19/10	・骨粗しょう症のためのもの[7]
13/06	・鎮痙剤[7]	21/00	筋または神経筋系疾患の治療薬[7]
13/08	・前立腺疾患のためのもの[7]	21/02	・筋弛緩剤, 例. 持続性筋硬直, 痙攣のためのもの[7]
13/10	・膀胱疾患のためのもの[7]	21/04	・重症筋無力症のためのもの[7]
13/12	・腎臓疾患のためのもの[7]	21/06	・同化促進剤 (アンドロゲン A61P5/26) [7]
15/00	生殖, 性関連疾患の治療薬 (性ホルモン疾患は A61P5/24) ;避妊薬[7]	23/00	麻酔薬[7]
171	・動物用であって、15/02-15/18 に分類されないもの (H11.6 新設)	171	・動物用 (H11.6 新設)
		23/02	・局所麻酔剤[7]
		25/00	神経系疾患の治療薬[7]
		25/02	・末梢神経疾患のためのもの[7]
		25/04	・中枢性鎮痛剤, 例. オピオイド[7]
		25/06	・偏頭痛治療剤[7]

25/08	・抗てんかん剤, 抗痙攣剤[7]	171	・動物用であって、33/02-33/14 に分類されないもの (H11.6 新設)
25/10	・・てんかん小発作用[7]	33/02	・抗プロトゾア, 例. リーシュマニア, トリコモナス, トキソプラズマ[7]
25/12	・・てんかん大発作用[7]	171	・・動物用抗原虫剤 (H11.6 新設)
25/14	・異常行動処置剤, 例. 舞踏病, ジスキネジー[7]	173	・・動物用抗コクシジウム剤 (H11.6 新設)
25/16	・・抗パーキンソン剤[7]	33/04	・・殺アメーバ剤[7]
25/18	・抗精神病剤, 例. トランキライザー, そう病, 精神分裂病治療剤[7]	33/06	・・抗マラリア剤[7]
25/20	・催眠薬; 鎮静剤[7]	33/08	・・カリニ肺炎のためのもの[7]
25/22	・抗不安薬[7]	33/10	・駆虫剤[7]
25/24	・抗うつ薬[7]	33/12	・・住血吸虫[7]
25/26	・興奮剤, 例. ニコチン, コカイン[7]	33/14	・体外寄生虫, 例. 殺疥癬虫剤[7]
25/28	・中枢神経変性疾患治療剤, 例. 脳機能改善剤, 認識増強剤, アルツハイマー病その他の痴呆症の治療剤[7]	35/00	抗腫瘍剤[7]
25/30	・乱用, 依存症治療のためのもの[7]	35/02	・白血病に特異的なもの[7]
25/32	・・アルコール乱用[7]	35/04	・転移に特異的なもの[7]
25/34	・・タバコ乱用[7]	37/00	免疫またはアレルギー疾患の治療薬[7]
25/36	・・オピオイド乱用[7]	37/02	・免疫調節剤[7]
27/00	感覚器系疾患の治療剤[7]	37/04	・・免疫刺激剤[7]
27/02	・眼科用剤[7]	37/06	・・免疫抑制剤, 例. 移植組織拒絶反応に対応するもの[7]
27/04	・・人工涙; 洗浄液[7]	37/08	・抗アレルギー剤 (抗喘息薬 A61P11/06; 眼科用抗アレルギー剤 A61P27/14) [7]
27/06	・・緑内障治療剤, 縮瞳剤[7]	39/00	一般的保護剤または解毒剤[7]
27/08	・・散瞳剤または毛様筋麻痺剤[7]	39/02	・解毒剤[7]
27/10	・・調節障害のためのもの, 例. 近視[7]	39/04	・キレート剤[7]
27/12	・・白内障のためのもの[7]	39/06	・フリーラジカル消去剤又は抗酸化剤[7]
27/14	・・うっ血除去剤または抗アレルギー剤[7]	41/00	外科的療法において使用される医薬, 例. 癒着防止剤または硝子体代替物[7]
27/16	・耳系用剤[7]	43/00	グループ A61P1/00-A61P41/00 に展開されていない特殊な目的の医薬[7]
29/00	非中枢性鎮痛剤, 解熱剤, 抗炎症剤, 例. 抗リユーマチ剤; 非ステロイド系抗炎症薬 [NSAID] [2006. 01]	101	・個々の器官に作用する医薬 (H11.6 新設)
101	・抗リユーマチ剤 (H11.6 新設)	105	・組織細胞の機能に作用する医薬 (H11.6 新設)
29/02	・抗炎症作用を有さないもの[7]	107	・・細胞賦活剤 (H11.6 新設)
31/00	抗感染剤, 例. 抗菌剤, 消毒剤, 化学療法剤[7]	111	・生体内生理活性物質様医薬 (H11.6 新設)
171	・動物用であって、31/02-31/22 に分類されないもの (H11.6 新設)	112	・・プロスタグランジン様剤 (H11.6 新設)
31/02	・局所消毒剤[7]	113	・・抗ヒスタミン剤 (H11.6 新設)
31/04	・抗菌剤[7]	114	・・抗セロトニン剤 (H11.6 新設)
171	・・動物用であって、31/06, 31/08 に分類されないもの (H11.6 新設)	115	・・ブラジキニン様剤 (H11.6 新設)
31/06	・・結核に対するもの[7]	116	・・アンギオテンシン様剤 (H11.6 新設)
31/08	・・らい病に対するもの[7]	117	・・インターフェロン様剤 (H11.6 新設)
31/10	・抗真菌剤[7]	121	・共力剤 (H11.6 新設)
31/12	・抗ウイルス剤[7]	123	・プロドラッグ (H11.6 新設)
171	・・動物用であって、31/14-31/22 に分類されないもの (H11.6 新設)	125	・理学的療法 (H11.6 新設)
31/14	・・RNA ウィルスに対するもの[7]	127	・・灸療法用剤 (H11.6 新設)
31/16	・・・インフルエンザ, ライノウィルス[7]	171	・動物用であって、他に分類されないもの (H11.6 新設)
31/18	・・・HIV に対するもの[7]		
31/20	・・DNA ウィルスに対するもの[7]		
31/22	・・・ヘルペスウィルスに対する[7]		
33/00	抗寄生虫剤[7]		

注

このグループへの分類は、化合物または医薬製剤の特殊な治療活性が明白に開示されているが、それをグループ 1/00 から 41/00 のいずれかに分類することが適切でない場合にのみ行われる。[2010. 01]